

科目名	学科名	対象学年	単位数	期間	履修
国語表現	普通科	3年	3単位	通年	選択必修

**科目の目標**  
 ○この科目では、小学校、中学校及び高校1学年次履修の「国語総合」と一貫して求めている「伝え合う力」を一層確かなものとして、社会人としての生活に生かすことのできる国語の能力をさらに高めることをねらいとしている。そのため、話題や題材について考え、判断したことを、国語で適切かつ効果的に表現する能力の育成、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育成することを重視している。

**学習内容**  
 ○主に次のような言語活動を通して学習する。  
 ア 様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したり討論したりすること。  
 イ 詩歌をつくったり小説などを書いたり、鑑賞したことをまとめたりすること。  
 ウ 関心を持った事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめること。  
 エ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり文章を書いたりすること。  
 オ 話題や題材などについて調べてまとめたことや考えたことを伝えるための資料を、図表や画像なども用いて編集すること。

○次の観点に基づき学習内容のまとめり（単元）ごとに評価を行い、それらを総括して学年末に5段階の評定を行う。

観点 評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		
行動・授業態度	◎				
発言・発表	○	◎			○
作品・提出物	○		◎		○
単元テスト	○		◎		◎

※表中の◎は観点の中でより重視するところ。

<b>教材</b>	教科書	『国語表現 改訂版』（大修館書店）
	副教材	『最新国語便覧』（浜島書店）

**履修上の注意**  
 本科目は「書くこと」のみならず「話す・聞くこと」も重要な要素であることをふまえ、知識重視の筆記試験ではなく学習活動に取り組む意欲や態度、発表の技能、提出物（創作物）を重視する。学習の一環として小論文や自己PR、模擬面接等を取り入れるが、受験の個別対策を行うという目的ではないことに留意すること。授業で学んだことをとおして、各自の目標や社会生活に活かされることを期待する。